



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第30号



令和元年11月28日

福祉実践教室

11月26日(火)に福祉実践教室が開催されました。3年生以上の子どもたちが、体験をおとして、それぞれの障害について理解を深め、障害のある方々への接し方を学んだり、福祉への関心を高めたりすることができました。子どもたちの感想を紹介します。

視覚障害者 ガイドヘルプ



今日の福祉実践教室で、目が不自由な人の気持ちが分かりました。これから、目が不自由な人に会ったら、助けてあげたいです。目が不自由な人に、今、どこにいるか、何があるか、段差があるか、階段か、曲がるのかなどのごことははっきりと伝えて、危険な思いをさせないようにしたいです。そのために、今日学んだことをちゃんと覚えておきたいです。(3年)

車いす体験



車いすに乗って、とても動きにくかったです。でも、障害者の人は車いすに乗っているんだなと思いました。障害者の人でも、普通の暮らしをしている人はいっしょだということを忘れないようにしたいです。(4年)

足の不自由な人が、どれだけ苦勞して生活をしているのか実感しました。出かけているとき、もし、困っている人がいたら、助けてあげたいと思いました。介助するときに、ブレーキをかける前に乗ってしまったので、振り返ると、危険だと思いました。体験できてよかったです。(4年)

手話



今回の実践教室で教わった自己紹介の仕方など、たくさんのごことを活用していきたいと思いました。耳が不自由な人がいたら、習ったことを使って、やさしく手話で対応してあげたいと思いました。(5年)

ぼくは、耳が聞こえない人の気持ちが、福祉実践教室で少し分かった気がします。耳だけではなく、目や足が不自由な人もたくさんいます。指文字や手話のように、耳が聞こえない人との会話の工夫が進んでいます。ぼくは、聞いた言葉を直接脳に話しかけられる装置を作れたらいいなと思いました。(5年)

点字



今日は貴重な体験をすることができました。点字があることは知っていたけど、こんなに詳しく勉強することができてうれしく思います。実際に点字を打つのは難しく、大変でした。点字を打つだけでも難しいのに、それを読むのはどれだけ難しいのかなと思いました。点字を打って、講師の先生に読んでもらったときはすごくうれしくて感動しました。自分も障害者の方に言葉を伝えられるんだなと思いました。これから、体が不自由な方、目が不自由な方と会ったら、手助けができるような人になります。(6年)

義援金へのご協力ありがとうございました！

15,420円

JAを通じて、宮城県大郷町災害対策本部へ送らせていただきました。ご協力ありがとうございました。